

# 令和3年度事業報告

- 1 「将来構想～今後10年の展望～」(平成24年度策定)の基本方針に基づき、この将来構想の実現に向けての重点項目である「競技力の向上、スポーツの普及、組織力強化、財政基盤強化、県立スポーツ施設整備の要望」について、本会加盟団体を始め、新潟県並びに関係機関・団体等との連携強化・協働を着実に促進した。

また、「新潟県スポーツ推進プラン」の実現に向け着実に推進した。

- 2 新型コロナウイルス感染症の影響により開催が1年延期された「2020東京オリンピック」に本県ゆかりの選手が9競技10種目に13名が出場し、銀メダリスト1名が、また2月に開催された「北京冬季オリンピック」では2競技5種目に11名が出場し、金メダリスト1名、銅メダリスト1名が誕生。県民に大きな感動と元気を届け、新潟県の競技水準の向上とスポーツの普及・振興に貢献した。

また、障がい者スポーツの普及・振興に寄与するため、関係機関・団体等との連携を図った。

- 3 地域全体が主体的に連携・協働してスポーツを推進する仕組みづくりをより充実するため、新潟県広域スポーツセンター事業を中心として総合型地域スポーツクラブの育成、スポーツによる地域活性化の促進を図るとともに、国の第2期スポーツ基本計画等に基づき創設される「総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度」に関する準備を推進した。

また、幼児期からの運動習慣アップのための支援の推進及びスポーツを通じて次代を担う青少年の健全育成を図るためのスポーツ少年団の育成・充実に取り組んだ。

- 4 スポーツ庁が制定した「スポーツ団体ガバナンスコード」を踏まえ、コンプライアンスの徹底やガバナンス強化等クリーンでフェアなスポーツの推進を加盟団体等と取り組み、新潟県のスポーツ・インテグリティを高め、併せてスポーツ文化の発展に取り組んだ。

また、本会のガバナンスコード遵守状況について年度末に公表した。

5 「新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター」の指定管理者（令和3年度からの5年間についても指定済み）として、適切かつ効果的な施設管理を行うとともに、競技水準の向上及び健康づくり活動を推進した。

また、魅力ある施設として県民に認識知されることで、施設の「賑わい」「活性化」を目指した。

※数字は決算額。（ ）は予算額

## A 公益事業

### I 競技力向上対策事業の推進 181,881,276円（220,101,000円）

本県の競技水準の維持・向上を図るため、県、加盟団体を始めとする関係機関・団体との緊密な連携・協力を目的とした諸会議を開催するとともに、各種強化事業を実施した。

#### 1 競技水準向上対策運營業務 33,719,827円（33,704,000円）

本県競技水準向上対策の方針について競技団体等関係者との共通理解を図るため諸会議を開催した。

会議名	期日	会場
国体実施競技団体理事長・強化総括責任者会議 第1回		※新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止
第2回	令和3年11月13日	新潟ユニゾンプラザ
第3回	令和4年3月12日	駅前オフィス貸会議室
第76回国民体育大会 監督会議・結団式		開催中止
オリンピック選手 育成検討委員会	令和3年5月11日	書面決議

※以下、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を中止した事業は、開催中止と表記する。

#### 2 競技水準向上対策事業 125,615,233円（163,538,000円）

##### (1) 新潟スーパージュニア養成事業

##### ア 新潟ジュニア育成事業 22,418,198円（39,743,000円）

将来の国体での少年種別の競技力の向上と国内トップ選手の育成を図るため、ジュニア選手（小学生・中学生・高校生）を対象として計画的・継続的な強化合宿を実施した。（34競技）

**イ 育成指導者配置事業 37,139,815 円 (38,356,000 円)**

競技力の向上を図るため、全国トップレベルの競技実績を有する育成指導者を市町村スポーツ・体育協会等に配置し、国体選手やジュニア選手に対して指導を行った。(7 競技 10 名)

**(2) 強化事業**

**ア 国体強化事業 52,900,896 円 (70,020,000 円)**

競技力の向上を図るため、国体選手及び次期候補選手の強化活動を支援した。(30 競技)

**イ 強化スタッフ支援事業 1,206,473 円 (2,871,000 円)**

国体選手のスポーツ障害の予防・コンディションの調整・技術指導等を行うため、スポーツドクターやトレーナー、コーチ等を北信越国体へ派遣した。(19 競技)

**ウ 社会人・企業スポーツ指定強化事業 1,797,000 円 (2,085,000 円)**

社会人スポーツの振興を図るため、新潟県社会人スポーツ推進協議会においてその方策を協議するとともに、社会人・団体のクラブが行う強化活動を支援した。(企業スポーツ強化支援助成 6 企業・クラブチーム強化支援助成 5 クラブ)

**エ 新潟県社会人スポーツ推進協議会の運営 413,000 円 (413,000 円)**

県内における社会人スポーツの推進と優秀な選手等の雇用を図るための方策を検討するとともに、会員企業への採用調査や競技団体への優秀選手就職希望調査等により、選手の定着を図った。

会議名	期日	会場
総会	令和3年6月3日	書面決議
幹事会		
第1回	令和3年6月3日	書面決議
第2回	令和3年11月25日	新潟県健康づくり医科学センター
第3回	令和4年3月16日	新潟テルサ

**オ トップコーチ等招へい事業 1,907,000 円 (2,000,000 円)**

オリンピックや国内で活躍する選手の育成と指導者の資質向上を図るため、国内外のトップコーチを招へいし、指導を受けた。(4 競技)

**カ 社会人スポーツ雇用支援事業** 2,330,000円(2,500,000円)  
 優秀な社会人選手や指導者が本県を拠点に活動できるよう、雇用を受け入れた企業に対して支援を行った。(3団体13名)

**キ コーディネーター配置事業** 5,502,851円(5,550,000円)  
 優秀な選手や指導者が本県に定着し、地域社会で活躍できる仕組みづくりなどを行うためコーディネーターを配置した。

**3 オリンピックアスリート夢チャレンジ事業**  
 22,546,216円(22,859,000円)  
 強化指定選手等の国内外の遠征等、強化活動に対して支援を行った。  
 (8競技50名)

**II 国民体育大会関連事業・業務の推進** 817,087円(1,372,000円)

第76回国民体育大会の開催が中止されたが、第42回北信越国体は中心会期の日程までの競技が実施された。

第77回国民体育大会冬季大会については、スケート・アイスホッケー競技会及びスキー競技会ともに開催され、国民体育大会への選手等の参加・派遣に関する業務を推進した。

<第76回国民体育大会成績>

大会名	男女総合成績		女子総合成績	
	得点	順位	得点	順位
冬季大会	20.0点	27.0位	10.0点	25位
本大会	(開催中止)			

- ※ 得点は、スケート・アイスホッケーの参加点のみ。
- ※ スキー競技会は、開催中止となったため得点及び順位なし。
- ※ 男女総合成績及び女子総合成績は、本大会の開催が中止されたことにより順位なし。

<第77回国民体育大会冬季大会成績>

大会名	男女総合成績		女子総合成績	
	得点	順位	得点	順位
冬季大会	139.0点	8位	56.0点	9位

## 1 国民体育大会への本県選手団派遣

大会名	会期	開催地	派遣人数
第76回国体本大会	令和3年9月25日 ～10月5日	三重県	開催中止
第77回国体冬季大会 スケート競技会・アイスホッケー競技会	令和4年1月24日 ～30日	栃木県	19名
第77回国体冬季大会 スキー競技会	令和4年2月17日 ～20日	秋田県	79名
第77回国体冬季大会 アイスホッケー競技会 北信越・東海ブロック予選会	令和3年12月17日 ～19日	愛知県	30名
第77回国体冬季大会 フィギュア競技会予選会	令和3年12月4日 ～5日	神奈川県	7名
第42回北信越国民体育大会	令和3年8月20日 ～22日	長野県	563名

## 2 国体ユニフォーム購入補助事業

国民体育大会は中止になったが、県予選会又は北信越国民体育大会を経て代表権を得た者で、既に本県選手団ユニフォームを購入し返品できない者を対象として選手団ユニフォームの購入費用を4割補助した。

## 3 アンチ・ドーピング教育・啓発活動の推進

国体選手・指導者に対し、アンチ・ドーピングの教育・啓発活動の一環として日本スポーツ協会が作成した啓発リーフレットを各競技団体やスポーツドクター協会等に配布した。

## Ⅲ 新潟スポーツムーブメントの推進 13,360,580円(6,446,000円)

### 1 新潟スポーツムーブメント推進事業

新潟県のスポーツ文化の発展を促すため、スポーツ・インテグリティの確保を推進し、クリーンでフェア、安全で安心なスポーツ環境を整えるとともに、スポーツ情報の提供、表彰の実施、加盟団体との連携強化などを推進した。

#### (1) 加盟団体連携会議の開催

事業名	期日	会場
加盟団体連携会議	令和3年4月21日	新潟県健康づくり・スポーツ 医科学センター

## (2) スポーツ・インテグリティ事業の推進

スポーツ・インテグリティを推進するための研修会及び本会加盟団体規程等を改正し説明会を開催するとともに、加盟団体等が実施する研修事業に補助（6件）した。

事業名	期日	会場
スポーツ・インテグリティ研修会		
第1回	令和3年4月21日	オンライン形式により実施
第2回	令和3年6月23日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
第3回	令和3年9月3日	オンライン形式により実施
第4回	令和3年11月13日	新潟ユニゾンプラザ
加盟団体規程等改正説明会	令和3年6月15日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター・オンライン形式により実施

## (3) スポーツ情報の収集発信の推進

本会ウェブサイトをリニューアルし、本会の諸活動や加盟団体等の情報発信と公益法人としての情報公開に努めた。

## (4) スポーツ功労者等の表彰

### ア 表彰選考委員会

会議名	期日	会場
表彰選考委員会	令和3年11月19日	デンカビッグスワンスタジアム

### イ 表彰者受賞者

表彰名	氏名 (敬称略)	所属 / 推薦団体	表彰式 期日/会場
スポーツ栄光賞 4名	平野 歩夢	TOKIO インカラミ	令和4年3月10日 デンカビッグスワンスタジアム
	富田 せな 富田 るき	チームアルビレックス新潟 チームアルビレックス新潟	令和4年3月11日 デンカビッグスワンスタジアム
	中井 飛馬	日本体育大学	令和4年度に実施予定

スポーツ功労者賞 2名	竹内 嘉秀 馬場 伸行	日本体育大学 (公財)長岡市スポーツ協会 新潟県ボート協会	令和3年 12月12日 アートホテル 新潟駅前
優秀指導者賞 3名	奥山 和義 小黒志津江 星野 力	(一財)新潟陸上競技連盟 (一財)新潟陸上競技連盟 新潟県柔道連盟	
公認スポーツ指導者賞 2名	久保田 武 太田 直樹	(一財)新潟県水泳連盟 (公財)長岡市スポーツ協会	
優秀競技者賞	112名	8団体	

#### (5) 公認スポーツ施設運営士の養成

公益財団法人日本スポーツ施設協会公認スポーツ施設運営士を養成した。(24名)

事業名	期日	会場
公認スポーツ施設運営士養成講習会	平成33年9月15日～17日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター

#### (6) 地域における青少年スポーツ活動の支援

新型コロナウイルス感染症の影響によって停滞した地域における青少年スポーツ活動を奨励・支援するため、第四北越銀行寄付金を活用し、市町村スポーツ(体育)協会に「地域における青少年スポーツ活動支援事業奨励交付金」を交付(27件)した。

#### (7) 新型コロナウイルス感染症に関連した事業の実施

新型コロナウイルス感染症に関連した事業として、日本スポーツ協会委託事業(国庫補助事業)の2事業を実施した。

##### ア 地域スポーツクラブ推進体制基盤強化事業

各スポーツ団体や行政・大学等の関係者による地域スポーツ推進団体連絡会議の開催(4回)、令和5年度からの部活動の段階的な地域移行を共通テーマとした「スポーツ推進のための地域ミーティング」の開催(阿賀野市、十日町市、津南町、上越市)、スポーツ団体における実践事例等の調査報告書の作成、「新しい生活様式」を踏まえたスポーツ指導者セミナーの開催(1回)及び総合型地域スポーツクラブの登録・認証制度の準備・啓発活動を推進した。

## イ 子供の運動遊び定着のための官民連携推進事業

有識者によるプロジェクト会議を開催（4回）し、事業企画の検討や官民連携推進のための方策等を協議した。

市町村スポーツ少年団、総合型クラブ等と連携し、JSP0-ACP（日本スポーツ協会アクティブ・チャイルド・プログラム）による親子運動遊び教室など18事業を実施（約600名参加）、参加者に対し運動・スポーツ継続への取組を奨励するとともに、アンケート調査を実施し、「新潟県推進プロジェクトにおけるJSP0-ACP実践に係る効果検証について」（新潟県立大学 伊藤巨志 教授）を作成した。

## 2 日本スポーツマスターズへの参加

生涯スポーツのより一層の推進を目的に、スポーツ愛好者の中で、競技志向の高いシニア世代を対象とした総合スポーツ大会として岡山県において開催の「日本スポーツマスターズ2021岡山大会」（実施競技13競技）は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を踏まえ開催が中止された。

大会名	会期	開催地	参加者数
日本スポーツマスターズ2021大会	令和3年9月17日 ～21日（中心会期）	岡山県	開催中止

## IV 公認スポーツ指導者の養成 762,174円（2,511,000円）

### 1 公認スポーツ指導者講習会（コーチI・II）の開催

（公財）日本スポーツ協会公認指導員養成講習会専門科目を開催した。

<専門科目>

開催競技	期日	会場	参加者数
軟式野球	令和3年11月20日（土） ～11月23日（火）	HARD OF ECO スタジアム新潟	37名
バレーボール	令和3年8月29日（日） ～9月26日（日）	新発田中央高校 北越高校	25名
ソフトボール	新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催中止		
水泳（競技団体独自）	令和3年7月4日（日） ～10月31日（日）	中央区コミュニティーセンター 悠久山プール アクシー中央	16名

## 2 スポーツ指導者研修会の開催

(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の更なる資質向上と活動促進及び指導者の連帯感を深め、組織的活用を図るため開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催を中止した。

研修会名	期日	会場
新潟県スポーツ指導者研修会	新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催中止	

## V 広域スポーツセンターの運営等 16,126,712円(17,596,000円)

「新潟県スポーツ推進プラン」(平成28年3月策定)に基づき、県民一人一人が日常生活の中にスポーツを取り入れる社会の実現を図るため、新潟県が本会内に設置した「新潟県広域スポーツセンター」の事業を推進した。

### 1 新潟県広域スポーツセンターの事業推進等

13,998,586円(15,015,000円)

事業推進拠点としての「新潟県広域スポーツセンター」の事業並びに新潟県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会、新潟県スポーツ施設協会の事業及び運営、各種調査・統計資料作成などの関連業務を行った。また、クラブの安定化等に向け新潟県が策定した「新潟県総合型地域スポーツクラブの指針」の運用を図った。

#### (1) 総合型地域スポーツクラブの育成・支援

総合型地域スポーツクラブの質的向上と連携強化を図るため研修会を開催するとともに、新型コロナウイルス感染症対応として総合型地域スポーツクラブが広域連携により実施する健康づくりイベントの開催を補助した。

また、新潟県総合型地域スポーツクラブ経営サポート事業(第2年次)を実施し、中小企業診断士等の指導・助言により、4クラブの経営改善を支援した。

事業名	期日	会場
新潟県総合型地域スポーツクラブ研修会	第1回 令和3年8月25日	第1回 新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター・オンライン併用
	第2回 令和3年9月18日	第2回 オンライン

市町村・総合型クラブ合同研修会	新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催中止	
広域連携型総合型地域スポーツクラブ健康づくり推進事業	指定クラブによる	指定クラブによる (3クラブへ補助)

## (2) スポーツと地域活性化の好循環創出事業の実施

県民がスポーツを通じて豊かな生活を送る社会の実現を目指すため、東京オリンピック・パラリンピックの開催によるスポーツに対する関心の高まりを背景に、スポーツの力と地域資源を活用した魅力ある地域づくり等への支援を通じ、スポーツによる地域活性化を推進するため、指定3団体（NPO 法人ネージュスポーツクラブ、松之山スキー協会、南魚沼市）と連携し、最終となる第3年次の事業を実施した。また、令和4年3月15日に事業アドバイザー及び関係者による「連携促進会議」を開催した。

指定団体	概要
NPO 法人ネージュスポーツクラブ (十日町市)	「ユニバーサルスポーツによる活気ある共生社会づくり」を掲げ、ユニバーサルスポーツによる「市民の健康づくり推進」「共生社会づくりを推進する人材育成」「交流人口づくりと経済効果」を目指して取り組んだ。
松之山スキー協会 (十日町市)	雪国に「住んで良し、訪れて良し」のSNOW SPORTSの取組を目指し、「まつのやま学園(小中一貫校)」の取り組むスノースポーツ授業を土台として、豪雪地帯のマイナスイメージをスノースポーツの魅力でプラスに転じ、世界的には価値のある豪雪地帯の天然雪の恵みを松之山地区のアドバンテージとして活かし、地域プライドを醸成して観光交流、関係交流(雪里留学等)によって松之山ならではの地域産業と地域教育の活性化、地元の競技者育成を目指して取り組んだ。
南魚沼市	自転車によるまちづくり「RIDE ON 南魚沼プロジェクト」を掲げ、自転車を軸に地域資源を活用し、南魚沼市の課題にみんなで挑戦し、スポーツの力で地域を元気にすることを目指して取り組んだ。

### (3) 地域スポーツ人材養成事業の実施

持続可能で健全なスポーツ団体の運営等を支える人材育成や人材の高度化を行うとともに地域スポーツ関係者の交流促進を図り、住民等が主体的に参画する地域スポーツ環境の整備を進めることを目的としたセミナーをオンライン形式により開催した。

期日	演題	参加者数
令和3年10月13日	非営利スポーツ団体のマネジメントと地域経済分析システム（RESAS）の活用について	37名
令和3年12月8日	スポーツで開発？ ～SDGsを理解して自分ゴト化へ～	50名
令和4年2月2日	「伝わる広報」－「伝える広報」から「伝わる広報」へー	74名

### (4) スポーツ情報の収集発信

新潟県広域スポーツセンターウェブサイトを運用し、様々なスポーツ情報の収集・発信を行った。また、「新潟県スポーツの現状」などの統計資料を作成・公開した。

### (5) その他関連業務の実施

国（スポーツ庁）の「体力・運動能力調査」等を始め、新潟県スポーツ施設協会事務局業務（総会・研修会開催、調査・名簿作成等）、ラジオ体操の普及などの事務を実施した。

## 2 幼児期からの運動習慣アップのための支援

2,128,126円（2,581,000円）

県内各地で誰もが幼児期に楽しく体を動かす「運動遊び」を経験でき、発達段階に応じた適切な援助を受けられる環境の整備を図るため、公開保育形式によるモデル研修会及び、保育士、スポーツ指導者、行政担当者等による先進的な取組みや好事例の共有を図る保育・スポーツ連携会議（普及啓発セミナー）を開催するとともに、幼児期における「運動遊び」の普及啓発や保育者等への支援を担う地域の中核となる人材の養成を図るため、地域専門人材養成研修事業を実施し、10名の受講者のうち5名を修了者とした。

なお、事業の企画立案及び効果的な実施方法等について専門的な見地から適切な助言を得るためのアドバイザー会議と地域専門人材養成研修成果検討会を令和4年3月8日に開催した。

(モデル研修会)

会場名	期日	会場	参加者数
弥彦村会場	令和3年10月14日	弥彦村立弥彦保育園	13名
妙高市会場	令和3年10月28日	妙高市立さくら保育園	15名
南魚沼市会場	令和3年11月15日	南魚沼市大和B&G海洋センター	21名
長岡市会場	令和3年11月30日	長岡市浦体育館	25名
阿賀野市会場	新型コロナウイルス感染拡大等の影響により開催中止		
加茂市会場			

(保育・スポーツ連携会議／普及啓発セミナー)

弥彦村会場	令和3年10月14日	弥彦総合文化会館小ホール	13名
妙高市会場	令和3年10月28日	妙高市総合体育館	20名
長岡市会場	令和3年11月30日	越路総合福祉センターレクリエーション室	19名
阿賀野市会場	新型コロナウイルス感染拡大等の影響により開催中止		
加茂市会場			

**VI 高等学校体育連盟への助成 244,894円(222,000円)**

(公財)日本スポーツ協会のオフィシャルパートナーである大塚製薬(株)が実施する「推進費付き自動販売機設置事業」を活用し、県内高等学校に設置した自動販売機の販売手数料を高等学校体育連盟へ助成金として交付した。

**VII スポーツ少年団の育成 10,267,085円(14,040,000円)**

スポーツを通じて心身ともに健全な青少年を育成するため、日本スポーツ少年団等との連携により諸事業を実施した。また、ジュニアスポーツの振興を図るため、関係団体との連携を促進するとともに、スポーツ少年団を取り巻く諸課題を検討し、経営改善を図るため、外部有識者を含めた経

営検討会議を設け、同会議からの提案を総会で採択した。併せて「いじめ見逃しゼロ県民運動」にも協力した。

## 1 新潟県スポーツ少年団の運営及びスポーツ少年団登録の促進

7,053,273 円 (8,187,000 円)

### (1) 新潟県スポーツ少年団の運営

#### ア 登録数の拡大促進

市町村スポーツ少年団の設置促進及び登録者（団員・指導者・役員・スタッフ）の維持・増加を目指すとともに、新型コロナウイルス感染対策を徹底しながら各種事業を再開し、スポーツ少年団活動の充実を図った。

#### ① 令和3年度市町村設置状況

28 市町村（未設置：妙高市・出雲崎町）

#### ② 登録状況

区分	団数・人数	前年度比
市町村	28 団	△1 団
単位団	553 団	△12 団
指導者	1,756 名	△166 名
単位団役員・スタッフ	906 名	78 名
県・市町村役員・スタッフ	194 名	△24 名
団員 (男女内訳)	10,181 名 男子6,886名 女子3,295名	336 名 119 名 217 名

#### イ 広報・情報提供等の推進

「にいがたスポ少ニュースレター」（1万7千部）を発行するなど、広報と情報提供を推進した。

## ウ 顕彰の実施

表彰名	表彰数等
新潟県スポーツ少年団顕彰 単位団 登録者	2団 6名
日本スポーツ少年団顕彰 市町村 登録者	見附市、加茂市 2名

## エ 諸会議の開催及び参加

新潟県スポーツ少年団の関連会議（総会、正・副本部長会議、表彰選考委員会、11 専門部会）を開催し、事務・事業の円滑な実施を図るとともに、日本スポーツ少年団の諸会議及び北信越ブロックスポーツ少年団連絡協議会理事会に参加した。また、スポーツ少年団を取り巻く諸課題を整理・検討するため、新潟県スポーツ少年団経営検討会議を設置し、経営的観点による改善策を総会に提案した。

会議名	期日	会場
第1回総会	令和3年6月2日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター・オンライン併用
第2回総会	令和4年3月3日	

## 2 事業の実施 3,213,812 円 (5,853,000 円)

### (1) 広域（地域）活動の支援 226,746 円 (250,000 円)

上越、中越、下越の地区連絡協議会が実施する事業に助成し、各地区におけるスポーツ少年団活動の充実を図った。

### (2) 第41回新潟県スポーツ少年団競技別交流大会の開催

2,678,647 円 (3,186,000 円)

開催競技	会期	開催地	参加者数
剣道、卓球、バドミントン、柔道、軟式野球、サッカー、バレーボール、少林寺拳法	令和3年6月19日～ 12月12日	新潟市、長岡市、新発田市、三条市、村上市、十日町市	1,786名
空手道、ミニバスケットボール	新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催中止		

(3) 北信越ブロック事業の開催又は参加 30,440円(583,000円)

大会名	会期	開催地	参加者数
第52回北信越ブロックスポーツ少年大会	令和3年8月20日 ～22日		
第41回北信越ブロックスポーツ少年団競技別交流大会 (ミニバスケットボール、バドミントン、卓球)	令和3年6月26日 ～27日	新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催中止	
同上 (バレーボール)	令和3年11月6日 ～7日	福井県	1チーム
第43回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会北信越大会	令和3年7月3日 ～4日	新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催中止	

(4) 全国スポーツ少年団交流大会等への派遣 70,028円(644,000円)

大会名	会期	開催地	参加者数
第59回全国スポーツ少年大会	令和3年9月19日 ～20日	オンライン	本県からの参加者無し
第44回全国スポーツ少年団剣道交流大会	令和4年3月26日 ～28日	新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催中止	
第19回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会	令和4年3月27日 ～30日		

(5) 国際交流活動の実施 17,994円(60,000円)

事業名	期間	派遣(受入)先	人数
第48回日独スポーツ少年団同時交流北信越事前研修会	オンライン交流に伴い、中止		
同 オンライン交流	令和3年7月25日 ～8月1日	オンライン	本県からの参加者無し
同 受入	新型コロナウイルス感染拡大の影響により受入中止		

2020 日独スポーツ少年団ユースキャンプ	令和3年8月2日 ～5日	オンライン	1名
-----------------------	-----------------	-------	----

(6) 指導者の養成と資質向上の促進 111,477円 (371,000円)

事業名	期日	会場	参加者数
スタートコーチ (スポーツ少年団) インストラクター移行研修会	令和3年12月19日 ～令和4年1月23日	オンライン	1名
スタートコーチ (スポーツ少年団) インストラクター養成講習会	令和4年1月23日	オンライン	1名
スタートコーチ (スポーツ少年団) 養成講習会	オンデマンド学習 令和3年9月10日 ～10月31日  グループワーク 令和3年10月2日 ～11月14日	オンデマンド学習: オンライン  グループワーク: 新潟県健康づくり・スポーツ医学センター・オンライン	138名
新潟県スポーツ少年団指導者研修会 (第7回スポーツ・インテグリティ研修会と兼ねて開催)	令和3年9月3日	オンライン	2名 (スポーツ少年団関係者)
北信越ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会	令和3年11月20日	オンライン	本県からの参加者なし
第4回ジュニアスポーツフォーラム	令和3年6月13日	オンライン	1名
アクティブ・チャイルド・プログラム (JSPO-ACP)	研修会 令和3年11月28日	三条市栄体育館	40名
	講師講習会 令和3年7月10日 ～11月21日	東京都、岡山県	本県からの参加者なし

	講師講習会受講修了者ブラッシュアップセミナー 令和3年7月11日 ～11月21日		
	指導実践研修会 令和3年7月3日	京都府	

(7) リーダーの育成 78,480円 (759,000円)

事業名	期日	会場	参加者数
新潟県スポーツ少年団リーダー研修会	令和3年7月17日	長岡市さいわいプラザ	10名
全国スポーツ少年団リーダー連絡会	令和3年6月12日 ～13日	オンライン	1名
シニア・リーダースクール	令和3年8月17日 ～20日	オンライン	本県からの参加者なし
ジュニア・リーダースクール	令和3年8月7日 ～9日	開催要件として規定する人数に達しなかったため、開催中止	
北信越ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会	(研究大会) 令和3年10月31日 (事前会議) オンライン開催に伴い、中止	オンライン	4名

(8) 「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」の開催に向けた取組み

日本スポーツ少年団と連携して、フェアプレーの推進や全国一斉活動（清掃・美化活動等の社会貢献活動）などを推進した。

VIII 新潟県健康づくり・スポーツ医科学センターの管理運営

177,809,457円 (183,793,000円)

指定管理者として本施設の機能を十分活用し、適切有効に管理運営するとともに、本県の競技水準の向上と県民の健康づくり活動の支援を行った。

なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響により一部の事業を中止した。

## 1 事業の実施

### (1) 競技水準向上事業 65,601,959円(69,308,000円)

競技者及び指導者等に医科学的な根拠に基づいた測定・分析・診療を通してトップアスリートの育成支援を行った。

#### ア 体力測定の実施

体力測定の意義・重要性について、県民や関係競技機関・団体への理解を深める働きかけを行い、利用促進に努めた。

#### イ 動作分析の実施

利用者それぞれのニーズに適した分析内容を提案するとともに、利用者拡充を目的に出張対応等を行い、継続利用の個人・団体の利用促進及び小・中学ジュニア選手の新規利用の拡大を図った。

#### ウ 競技力向上相談の実施

体力測定や動作分析等の結果を基に、新たなトレーニング方法の導入や、トレーニング、スポーツ栄養、スポーツメンタル等について専門職がサポートを行った。

#### エ スポーツ医科学サポート補助事業

国体候補選手及びジュニア選手等が実施する体力測定及び動作分析の測定料金の補助を行った。

内 容	利用者数	対前年比
体力測定	464名	△22名
動作分析	280名	△13名
競技力向上相談	777名	△108名
合 計	1,521名	△143名
内スポーツ医科学サポート補助	545名	△137名

### (2) 診療所の運営 48,790,993円(47,688,000円)

新型コロナウイルスの感染防止と医療安全管理指針に基づいた安全・安心な医療を実施するため、新潟大学大学院医歯学総合研究科と県内医療機関との病診連携により診療を行った。

#### ア 内科

体力測定及び生活習慣しっかり改善コース、個別プログラムサービス受講者の医学検査を実施した。

## イ 整形外科・リハビリテーション科

スポーツによる障害・外傷を対象とした外来診療と復帰に向けたリハビリテーションを実施した。

内 容		利用者数	対前年比
内 科	体力測定医学検査	358名	△27名
	健康づくり医学検査	163名	67名
	小 計	521名	40名
整形外科外来診療		1,667名	103名
リハビリテーション外来診療		1,203名	57名
自主事業内科外来診療		204名	△11名
合 計		3,595名	189名

### (3) 健康づくり実践指導事業の実施 28,515,165円 (31,080,000円)

県内の健康づくり活動の普及、指導者の育成を目的に、健康づくり実践指導事業（生活習慣しっかり改善コース・親子健康づくりプログラム）を実施した。

#### ア 生活習慣しっかり改善コースの実施

健康づくりのモデルコースとして実施し、有益なデータや取り組み事例を蓄積・発信した。

#### イ 親子コースの実施

親子が絆を深めながら一緒に学べるモデルコースとして、健やかな生活習慣の基礎を確立できる「親子健康づくりプログラム」開発を目指し実施した。（低年齢層での新型コロナウイルス感染症が拡大したため、後期コースを中止した。）

#### ウ 健康づくり実践指導者研修（人材育成）の実施

改善コースと親子コースへのコース参加型と指導者ニーズ対応型の2つの研修実施により、健康づくり指導者の人材育成を図った。

#### エ 個別プログラムサービスの実施

健康の保持増進を目的に取り組みたい方を対象に、健康サポート個別コースとオプションメニューにより、健康づくり実践指導事業を補完し、継続的なフィットネスホール利用の促進を図った。

#### オ 健康づくりのための運動指導者研修会の開催

生活習慣病予防対策として運動習慣の普及・定着を推進するため、研修会を開催し、健康づくり指導者等の資質の向上を図った。

#### カ ケアコンディショニング講習会

児童・生徒に対し、健康的な生活を送るための基礎となる栄養・運動・休養の講義や学校部活動に活用できるケガをしないための身体ケアの方法や基礎体力づくりの具体的な実技の講習会を実施した。

内容		参加者数	対前年比
生活習慣しっかり改善コース		771名	356名
親子健康づくりコース		28名	△18名
健康づくり実践指導者研修		143名	17名
個別プログラムサービス		593名	265名
健康づくりのための運動指導者研修会	室内運動指導者研修会	47名	4名
	水中運動指導者研修会	19名	5名
ケアコンディショニング講習会		404名	374名
合計		2,005名	1,003名

#### (4) 施設一般利用 24,771,366円 (25,493,000円)

##### ア フィットネスホールの利用

複数種類のフリーパス券の提供や、各種事業との連携、利用者ニーズの対応等により、長期的、継続的な利用を促進した。

##### イ 研修室等の利用

デンカビッグスワンスタジアムとの連携等により、県民に対するセンター研修室等の認知度を高め、利用拡大を図った。なお、新型コロナウイルス感染対策により、トキめき広場を閉鎖した。

内容	利用者数	対前年比
フィットネスホール	17,699名	5,344名
研修室等	1,442名	△4名
合計	20,565名	6,764名

(5) スポーツと健康づくりの情報発信 4,331,207円(4,389,000円)

県民の利用拡充を図るため、利用者のニーズを踏まえた環境整備を随時行うとともに、ウェブサイト及び広報媒体等を活用し情報発信を行った。また、年報、パンフレット、チラシを作成し関連施設へ配布した。

(6) 県民講座の開催 3,266,851円(3,332,000円)

健康づくり及び競技スポーツに関する公開講座や運動教室、専門者向けの講習会等を開催し、県民の知識・技術の習得を促進した。

内 容	参加者数	対前年比
一般講座	532名	202名
専門講座	144名	40名
にぎわいイベント	1,044名	1,044名
合 計	1,720名	1,286名

B 収益事業 2,531,946円(2,573,000円)

本施設の研修室等利用のうち公益目的に該当しない利用目的で貸出している研修室等について管理運営を行った。

内 容	利用者数	対前年比
研修室等	1,362名	821名

C 法人事業

1 県スポーツ協会の運営 17,650,662円(23,247,000円)

スポーツの普及・振興、競技力向上等の推進にあたり、関連団体の業務や事務局業務を担いながら新潟県の総合的なスポーツ振興に取り組んだ。

<事務局を担っている関連団体>

- ・新潟県広域スポーツセンター
- ・新潟県スポーツ少年団
- ・新潟県社会人スポーツ推進協議会
- ・公益財団法人スポーツ安全協会新潟県支部
- ・新潟県スポーツ施設協会
- ・新潟県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会

## 2 諸会議の開催

### (1) 評議員会及び理事会

会議名	期日	会場
定時評議員会	令和3年6月23日	デンカビッグスワンスタジアム
臨時評議員会	令和3年3月25日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
理事会 第1回	令和3年4月6日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
第2回	令和3年6月8日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
第3回	令和3年6月23日	デンカビッグスワンスタジアム
第4回	令和3年12月17日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
第5回	令和3年3月12日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター

### (2) 専門委員会

委員会名	期日	会場
生涯スポーツ委員会 第1回	令和3年6月8日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
第2回	令和3年12月7日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター

### (3) その他

委員会名	期日	会場
評議員選定委員会	令和3年5月19日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター

## 3 加盟団体等との連携強化

加盟団体、県や市町村のスポーツ行政等その他関係機関との連携強化及び親睦交流を深めるため、下記事業を開催した。

事業名	期日	会場
加盟団体連携会議	令和3年4月21日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
ゴルフ大会	令和3年7月19日	ヨネックスカントリークラブ
新年会	新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催中止	